



2011～2012年度  
R I テーマ

Reach Within to Embrace Humanity  
こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー会長 カルヤン・バネルジー (国籍・インド)

2720 地区

## 別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分  
ところ ホテルニューツルタ 〒874-0801 別府市北浜1-14-15  
TEL (0977) 22-1100 FAX 21-1019  
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル3F  
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000  
FAX (0977) 23-9019  
http://www.beppu4rc.jp/chuo/  
E-mail:info@beppu4rc.jp

理事 亀井 孝	理事 近藤 賢司	役員 会 長 亀井 孝	S A A 木村きぬゑ
〳 高宮 勝美	〳 平野 英壽	副会長 高宮 勝美	直前会長 木村きぬゑ
〳 森 宗明	〳 津末美代子	幹 事 森園 伸也	
〳 村津 忠久		会 計 河村 貴雄	

VOL. 24-18  
2011年11月8日

## 第1072回例会

会報委員長 大島由美子

- ◆点 鐘 12:30
- ◆体 操 自律神経強化体操
- ◆R S 別府中央R.C.の歌
- ◆唱 歌 七つの子
- ◆B.G.M 「ダーク・ダックスの  
オリジナルヒット集」より  
ともしび  
雪山讃歌  
北上夜曲 他

- ◆ゲスト 浅野拳史氏  
(立命館アジア太平洋大学公認  
学生NGO団体PRENGO代表)  
グエン・ティ・ツイ・ユンさん  
(米山奨学生)

### ◆出席報告 出席委員長 衛藤 秀子

本日 の 出 席	会 員 総 数	25名
	出 席 者	16名
	事前メイクアップ	0名
	理 事 会 承 認	1名
	出 席 免 除	2名
10/25	欠 席 数	6名
	出 席 率	69.57%
前々 回 の 訂 正	出 席 率	78.26%
	事後メイクアップ	1名
	理 事 会 承 認	0名
	出 席 免 除	2名
	修 正 出 席 率	82.61%
連 続		-回
通 算		743回 100%

### ・メイクアップ

事前  
事後 河村 (別府)  
欠席 平野(英)、平野(教)、河村、  
中尾、森園  
出席免除 溝部、梅津  
理事会承認 梶田

### 会長の時間

会長 亀井 孝

先週の1日に河村会員のお母様が亡くなりました。会員の皆様でご冥福を祈りたいと思います。

11月3日の「もみじ谷奉仕作業」お疲れさまでした。

参加の皆さんによって一生懸命草取り等されたもみじの苗木です。いつの日か立派な大木になって素晴らしい紅葉を見せてくれることでしょう。ありがとうございました。また、頑張りましょう!!

ロータリー財団が提唱している「GSEプログラム」で、10月31日から11月3日まで、アメリカからの5人の研修生を市内4RCで受け入れ、そ

れぞれのプログラムにのっとり研修されました。私達別府中央RCでは、平野(教)会員がホストファミリーとなり、溝部学園にて研修をうけていただくことができました。関係各位に厚くお礼申し上げます。

平野会員には3日間の送迎、ホームステイ等本



当にお世話になりました。奥様にもくれぐれもよろしくお伝え下さい！

私達クラブの会員であります、栴田会員が入院されましたので、皆様を代表して昨日お見舞いに行ってきました。これから少しずつリハビリをしていかれるようです。

今年の3月22日の「NHKニュース7」で放映された、気仙沼市階上中学校の卒業式での答辞の話しを少ししたいと思います。

『“階上中学といえば防災教育”と言われ、内外から高く評価され、十分な訓練もしていた私達でした。しかし、自然の猛威の前には人間の力はあまりにも無力で、私達から大切なものを容赦なく奪っていきました。天が与えた試練というには惨すぎるものでした。辛くて、悔しくて、たまりません。しかし、苦境にあっても天を恨まず、運命に耐え助け合って生きていくことが、これからの私達の使命です。』

場 所 大分東洋ホテル  
出席者 会長、幹事、ホストファミリー

5. 11月1日(火)9:00～ホテル白菊集合にて、第6330地区(米国・カナダ)からGSEとして当地区を訪問中の団員の職業研修が行なわれ、当クラブ担当のキャロリン・ウィリアム氏が別府溝部学園高等学校を表敬訪問致しました。また、平野教康ホストファミリーには、各研修場所への送迎、同行を含めお世話いただきました。ありがとうございました。

6. 11月3日(木・祝)8:30～別府もみじ谷に於いて「もみじ谷奉仕作業」を行いました。参加会員の皆様、ご協力ありがとうございました。当日の参加者は、亀井 孝会長、森園伸也幹事、梶原和朗、岐部光男、前田哲矢、村津忠久、森 宗明(11月7日出動)、鳴海淳郎、佐々木久宜各会員と寺西氏(平野工務店社員)、杉本氏(K.K.リフライ社員)及び、陸上自衛隊別府駐屯地曹友会より28名、コーラスグループより3名の計42名でした。

7. 11月7日(月)当クラブを代表して、亀井孝会長が栴田健治会員のお見舞いに行かれました。

8. 第5回定例理事・役員会報告  
(平成23年11月1日(火)13:40～  
ホテルニューツルタ例会場 7名)

**報告事項**

1)「忘年会」開催の件。※承認  
日 時 平成23年12月20日(火)18:30～  
場 所 ホテル山水館  
会 費 会員8,000円+例会食費より2,000円

2)定款休会の件※承認  
・平成23年12月27日(火)  
・平成24年1月3日(火)

3)「新年家族会」開催の件。※承認  
(※例会前に「第7回定例理事・役員会」を開催致します。)  
日 時 平成24年1月10日(火)18:30～  
場 所 割烹旅館 ゆめさき  
会 費 会員10,000円 ご家族8,000円  
+例会食費より2,000円  
※プレゼント交換 1,000円程度

**幹事報告**

**幹事 森園 伸也**

**一ロータリー財団月間一**

1. 本日の内容  
「R財団月間に因んで  
～ロータリーの2億ドルのチャレンジ～」

2. 本日のゲスト  
あさのけんし  
浅野拳史氏(立命館アジア太平洋大学公認  
学生NGO団体PRENGO 代表)  
グエン・ティ・ツイ・ユンさん(米山奨学生)

3. **訃報**(※慶弔規定によりクラブからお花と弔電を贈りました。)  
当クラブの河村貴雄会員のご母堂様(河村房子様)が11月1日、享年82歳にてご逝去されました。通夜が11月3日(木)19:00～、葬儀が11月4日(金)12:00～いずれも佐藤葬祭社に於いて執り行われました。謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。

4. 「GSE訪問団 フェアウェルパーティー」  
開催のお知らせ  
日 時 平成23年11月12日(土) 17:00～



4) 11月・12月例会予定の確認

- 11月1日 「会員卓話」高宮勝美会員
- 8日 「R財団月間に因んで」
- 15日 「税務行政の運営の考え方」  
別府税務署長 鍋 清見氏
- 22日 「ゲスト卓話」  
NGO団体PRENGO代表 浅野拳史氏
- 29日 「会員卓話」津末美代子会員
- 12月6日 「会員卓話」後藤 隆会員
- 13日 「年次総会」
- 20日 「忘年会」
- 27日 「定款第6条第1節(C)に基づき休会」

5) その他

- 慶弔規定第4章「病氣見舞い」第5条見直しの件。※承認
- 梶田健治会員入院に係る見舞金支給の件。※承認
- 国際奉仕委員会活動の件。※承認  
今年度委員会活動として立命館アジア太平洋大学公認学生NGO団体PRENGO活動に対し、支援金30,000円（例会に招待し、手渡す。）

9. 委員会報告

- ①ロータリー探究：No.456「ロータリーの重点分野」鳴海淳郎R情報委員長より
- ②社会奉仕委員会報告 村津忠久社会奉仕委員長より

10. お祝い

- 会員誕生日 森園伸也会員（11月8日）  
※記念品をお渡し致します。
- 結婚記念日 溝部 仁会員（11月10日）  
※ご自宅にお花が届きます。

11. 例会変更のお知らせ

- くにさきRC 11月16日(水)の例会は、職場例会の為 同日12:30~ヘルメット潜水に場所変更
- 中津平成RC 11月24日(木)の例会は、向笠公園清掃例会の為 同日13:30~向笠公園へ場所変更
- 大分東RC 11月24日(木)の例会は、夜の例会の為 同日18:30~丸福に時間・場所変更

12. 次週の予定

- 「税務行政の運営の考え方」  
別府税務署長 鍋 清見氏
- 「会員コラム」 前田哲矢会員

13. 本日の配布

- ①週報No.1071

スマイルボックス 副委員長 平野 教康

○鳴海会員

先日のもみじ谷作業に出席された皆さん、ご苦労様でした。

わたしは村津さんと一緒に、第一九電橋との間を色々話を聞きながら往復しましたが、植樹の実績の素晴らしさの中に問題点をお聞きすることができ、改めて今後の奉仕作業に熱意を抱きました。

また、坂の上り下りに、少しでもよろめいたりすると、すかさず腕で支えて呉れる人がいて、本当に有難かったです。

以上をスマイルして感謝したいと思います。

○村津会員

11月3日(木・祝)の「もみじ谷奉仕作業」に御参加戴いたみな様、ありがとうございます。

詳細は先程の委員会報告の通りですが、株式会社リフライの社員・杉本さんの御参加は感激でした。前回・7月の奉仕作業に社長の前田会員の代理で来られた杉本さんが、今回は前田会員と御一緒に、自前で参加されたものです。大感謝してスマイル致します。

○森会員

もみじ谷当日参加出来ませんでした。今朝行って数をかぞえて来ました。

亀井会長の会長の時間にスマイル。

○後藤会員

今日の歌「七つの子」ですが、思わず「カラスの勝手にしょ」と口が勝手に動いていました。



社会奉仕委員会報告 委員長 村津 忠久

「もみじ谷・秋の奉仕活動」は予定通り、11月3日（木・祝）に行われました。

当日は終日曇天無風、気温は朝18℃、昼頃22℃でした。

8：20より、石田種苗園社長よりモミジ苗木の植栽要領指導、8：25より準備体操、8：30より作業開始式を行いました。最初に荷宮曹友会会長の挨拶、次いで亀井会長の挨拶、その後、私より本日の作業要綱を説明した後、作業現場に移動。

曹友会は、東日本大震災救援活動の為延期されていた植樹、苗木200本を植栽した後、来年春の植栽目途を立てる作業を実施。

ロータリーとコーラスグループの14名は、08・09地区のこだわり整美作業の後、C地区、B地区の整美作業。08・09地区の残存成育苗木本数は313本（前回・7月の作業時は318本）でした。何れも森会員の徹底調査に依るものです。

参加者は、曹友会・荷宮会長他28名、コーラスグループ3名、わがクラブからは、亀井会長、森園幹事、梶原、岐部、前田、村津、森（11月8日出動）、鳴海、佐々木、各会員と、寺西氏（平野工務店社員）、杉本氏（K.K.リフライ社員）の11名。計42名でした。

10時50分、夫々の分担作業を終了の後、参加者全員がA地区鉄階段の下に集合、「里の秋」と「紅葉」を高唱して無事終了致しました。

次回の奉仕は来年3月の植樹です。

ありがとうございました。

卓 話

ポリオ撲滅  
世界への贈り物  
ロータリーの2億ドルのチャレンジ  
2008-12年  
国際ロータリーのロータリー財団

固い決意とともに

世界がポリオの脅威にさらされ、恐怖におのいていたのは遠い昔の話ではありません。ポリオ常在国の数が125カ国を上回っていた当時、この病気で1日千人もの人々が麻痺障害によって体の自由を奪われ、中には命を落としていく状況の中

で、何千もの家族が苦しんでいました。そして、その犠牲の多くが子供たちでした。

1980年代初め、こうした苦しみから人々を解放しようと、ロータリーは、民間団体による取り組みとしてはかつてないほど壮大な人道的プログラムの計画に乗り出しました。こうして、1985年、世界中の全児童にポリオの予防接種を行うために数百万米ドルを投じる「ポリオ・プラス」が発足しました。ロータリーの類いなき献身は周囲にも波及し、1988年、世界保健総会は、5千年にわたって人類を死と麻痺障害で苦しめてきたこの病を一掃することを決議しました。

以来20年間、ロータリーと主導パートナー（世界保健機関、ユニセフ、米国疾病対策センター）は、世界で野生型ポリオウイルスを撲滅するため、休むことなく活動を続けています。ロータリーは、世界中のロータリアンの寛大な支援により、ポリオのない世界という夢の実現に向けて米貨7億ドル近くを投入してきました。



## すべての子供たちとの約束 これまでの進展

1985年以来、20億以上の子供たちが、経口ポリオ・ワクチンの接種を受けています。全世界における予防接種活動のおかげで、今日、500万人の子供たちがポリオの犠牲になることなく自由に歩き回れることの喜びを味わっています。報告されたポリオの症例数は99.8パーセント急減し、1988年に年間350,000件だった症例は、現在、2,000件を下回っています。ポリオ常在国は、ナイジェリア、インド、パキスタン、アフガニスタンの4カ国を残すのみとなりました。ロータリーと国際的



なパートナーの活動により、世界は野生型ポリオウイルスの撲滅に限りなく近づいています。



## 未永く続く、素晴らしい贈り物 さらなる挑戦

これまでの驚異的な進展にもかかわらず、世界にはまだポリオが存在しています。ポリオウイルスに国境はありません。ポリオ常在国からたちまち、ポリオのない国へ飛び火する可能性が残されています。たとえたった一人でも、世界にポリオの感染者がいる限り、子供たちがこの恐ろしい病にかからずに済むという保証はないのです。

現在、ポリオとの闘いで最も懸念される課題は資金の確保です。既に莫大な資金が費やされていますが、ポリオ常在4カ国の子供たちすべてに引き続き予防接種を行っていくためには、さらなる資金が緊急に必要とされています。ビル・



アンド・メリンダ・ゲイツ財団は、ポリオ撲滅に対するロータリーの懸命な取り組みと、その世界的なボランティアのネットワークを高く評価し、3億5千万米ドルの補助金をロータリーに提供しました。これに対し、ロータリーは、2012年6月30日までに、2億米ドルの資金を集めることを約束しました。国際ロータリーとゲイツ財団は力を合わせ、ポリオのない世界というロータリーの最優先目標に5億米ドル以上を提供することになりました。

## 現実的で達成可能な目標 未来への遺産

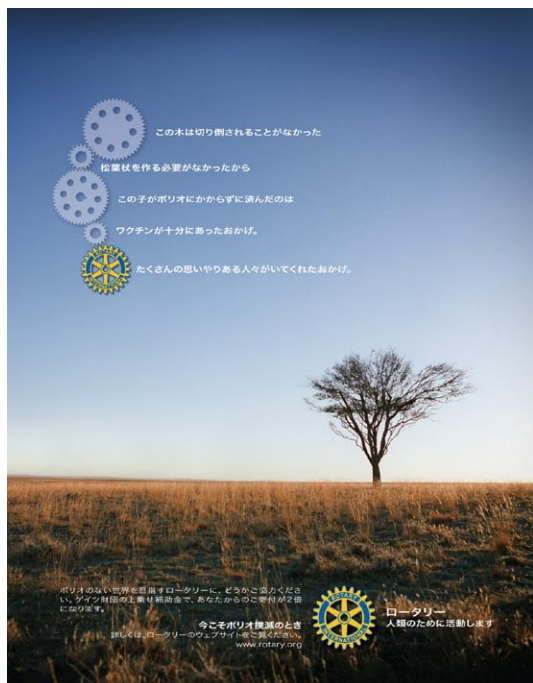
ポリオ撲滅の仕事を成し遂げる絶大なるチャンスを迎えた今、ロータリー・クラブ、インターアクト・クラブ、ローターアクト・クラブは、目標を達成するため、今後4年間、毎年募金活動を行うよう奨励されています。ロータリー家族のメンバー、特に比較的新しいロータリアンは、個人的に募金に協力することで、ロータリーの遺産に貢献するよう呼びかけられています。

ポリオの撲滅は、子供たちが野生型ポリオウイルスに感染して身体麻痺を患ったり、死に至ることがなくなることを意味します。さらに、ポリオ撲滅活動に費やされている年間10億米ドルを、ほかの保健問題への取り組みに利用することができ



るようになります。今こそ、行動を起こすときがやってきたのです。

1985年、国際ロータリーは、世界中の子供たちをポリオから守る、という歴史的な決断を下しました。それから20数年経った現在、世界はあと一歩でポリオの脅威から解放されるところまで来ています。皆さまからのご支援があれば、ポリオは必ずなくなります。



### 今こそ変化をもたらすとき 未来に遺産を残そう

100万人以上のロータリアンが、ポリオ撲滅活動の成果に大きく貢献してきました。この活動にご協力いただく方法は、ウェブサイト (www.rotary.org) をご覧ください。

「ポリオの撲滅は、公共保健の分野において歴史上最も重要な偉業となるでしょう。この目標を果たすために、私たちはロータリーという重要なパートナーと力をあわせ、全力を投入しています」

ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団  
共同理事長、ビル・ゲイツ

986-JA—(1108)



## 会員コラム

岐部 光男

一般にナメクジと呼ばれるものには、分類学的にはカタツムリと同じ有肺亜綱の柄眼目に属しカタツムリの一種ともいえる。カタツムリの貝殻が徐々に退化して小さくなり体内に入って見えなくなって、ナメクジ型に進化した巻貝といえる。殻を背負っているよりも運動が自由で狭い空間などにも入っていけるメリットがあるため。

ナメクジは、農作物や園芸において植物を食い荒らし直接的な被害をもたらすことが多い。しいたけ農場でも日々、ナメクジと奮闘しています。ナメクジはビールが好きで退治するのに使うこともあります。先日、230匹のナメクジを捕獲しま

した。

先祖はエスカルゴなら食べることができないのかな？

生きたまま丸呑みにすると心臓病や喉などに効くとする民間療法があると聞きますが広東住血線虫などの寄生虫感染があることがわかっていますから大変危険です。

ことわざで『ナメクジに塩』不得意なものを前にして、すっかり元気をなくしてしまうという意味で使われますが、私にとって塩は、家内ではないでしょうか、酒の席での塩はてき面です(笑)

次回は、前田哲矢会員です。